

その製品、図面通りに作れてますか？

「長さ」校正事業の取組みとニーズに合わせた測定方法の開発

アピールポイント

- 1 より高精度なものづくりを可能に
- 2 測れなかったことを測れるように



支援事例：デジタル精密水準器
(株式会社Any Design)

技術の特徴

- 1 世界各国に通用する信頼性の高い校正サービスを提供し、お客様の海外への販路を拡大(JCSS登録番号：0184)
- 2 「長さ」測定技術を組み合わせ、お客様のニーズに合わせた新しい測定方法を開発

企業へのご提案

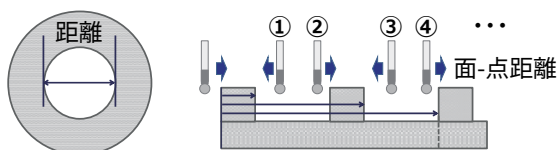
- 1 ISO/JISに準拠した計測器や装置のJCSS認定取得をサポート
- 2 従来では測定できなかったことを、新しい測定方法として共同開発

技術の概要

「日本で唯一」

- 1 座標系を持った測定機のゲージのJCSS校正証明書発行できます
(産業技術総合研究所と共同研究)

- 座標測定機を参照標準としたJCSSを取得



(例)リングゲージ (例)ステップゲージ(ノギスの校正に使用)

- ➡ 都産技研では、様々な計測器のJCSSロゴ付きの校正証明書(英文可)を発行できます

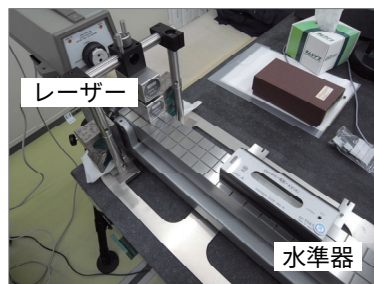
- JCSS校正対象(外)の製品の認定取得支援

- ➡ 都産技研が、JCSS取得認定を目指しているお客様を支援します。

「日本初」

- 2 デジタル精密水準器を校正できる「汎用型全自動精密傾斜校正装置」の開発
(株式会社Any Designと共同開発)

- お客様の「早く正確に測定したい」ニーズに応え、「傾斜量」を長さに置き換え、高精度な測定に成功



干渉システムを用いた汎用型全自動精密傾斜校正装置

- ➡ 汎用型全自動精密傾斜校正装置を用いて、水準器の校正を依頼試験で実施しています

JCSS：Japan Calibration Service System(計量法校正事業者登録制度)

【関連資料】

TIRI NEWS(2022年3月号、4月号)
Miura et al., Precision Engineering(2019)2報

技術支援部
実証試験技術グループ
三浦 由佳